2016年5月
戸田市議会議員　金野桃子

ユニバーサルデザインの取組み

総務常任委員会行政視察報告

2016年5月12-13日　静岡県浜松市、静岡市、静岡県立総合病院
戸田市議会議員　金野桃子

1　静岡県浜松市の取組み

人口：約80万9000人（平成28年4月現在）
面積：約1558㎢
一般会計予算：約2952億円（平成28年度）
議員定数：46人

画像出典：ABFl ocal area

浜松市は面積約1558㎢と全国で２番目に大きな市で、約８０万人の市民が住んでいます。製造業が盛んであったことから外国人が多く、ブラジル系を中心に約２万人が住んでいます。ゆるキャラ「家康くん」はゆるキャラグランプリを獲りました。

▲浜松市役所

▲家康くん

浜松市では、ユニバーサルデザイン（UD）の重要性が高まる中、一足先にユニバーサルデザインの取組みを始めた静岡県と市内の大学と連携し、平成12年度よりユニバーサルデザイン推進本部を設置し、ユニバーサルデザインを体系的に推進しています。「ユニバーサルデザイン条例」を制定し、「ユニバーサルデザイン基本計画」や「公共建築物ユニバーサルデザイン指針」等のガイドラインを策定し、さまざまな取組みを行っています。

▲ユニバーサルデザイン条例他

▲配布資料

▲市内の様子

浜松市では都市部（南部）に人口が集中し、山間部（北部）は過疎化が進んでおり、市内の区の見直しも進んでいます。

第二次ユニバーサルデザイン計画「U・優プランⅡ」では「思いやりの心が結ぶ優しいまち」を基本理念とし、「思い合い、認め合う“こころ”」と「みんなで支え合う“仕組み”」と「誰もが暮らしやすい“まち”」を基本目標に、ソフトとハードの取組みを進めています。

2016年5月
戸田市議会議員　金野桃子

全国でも珍しい「ユニバーサルデザイン条例」では、市民・事業者・行政のそれぞれの役割を明らかにすることで、すべての人が安心、安全で快適に暮らすことのできる社会を築くことを目的としています。市民ワークショップでは市民が主役のまちづくりを検討し、ユニバーサルデザイン協議会で効果的な計画を協議・推進しています。ユニバーサルデザイン推進本部で全庁横断的に総合的に協議をしています。

具体的な取組みとしては、市民・事業者・大学等と連携し、自助具展示やUD絵本コンクール作品展示、UD紙芝居上演、公園ワークショップ、UD市民リーダー養成講座やUDまちづくりワークショップを行っています。

また、公共建築物のユニバーサルデザインを行い、「公共建築物のユニバーサルデザイン指針」を策定し、区役所のユニバーサルデザイン、視覚障がい者用誘導ブロック、多目的トイレ、聴覚障がい者用情報設備、思いやり駐車場などを整備しています。

▲車椅子用エレベーター・表示

▲分かりやすいサイン表示

▲聴覚障がい者用情報設備

▲高さ太さの異なる手すり

▲段差をなくしたスロープ

▲障害者用駐車場

▲思いやり駐車場

この他、歩行空間のユニバーサルデザイン化を進め、「道路施設のユニバーサルデザイン指針」を策定し、UDブロックや路面標示サイン、交通バリアフリー基本構想等を整備しています。また、道路や建物の整備だけでは限界もあることから、心のユニバーサルデザインを進め、ユニバーサルデザイン教育の推進やUDサポーターの派遣もしています。

浜松市では、全国的にも珍しく「ユニバーサルデザイン条例」を制定し、公共施設、道路、まちづくりといったハード面だけではなく、ユニバーサルデザイン教育などを通してソフト面の「心のユニバーサルデザイン」の取組みをしている点が印象的でした。これからの課題は、“普及・啓発”から“定着・実践”を目指すことだそうです。全国的にもこれほど体系的にまち全体で取り組んでいる自治体は大変貴重だと思います。

2　静岡県静岡市の取組み

人口：約 71 万人（平成 28 年 4 月現在）
面積：約 1141 ㎢
一般会計予算：約 5978 億円（平成 28 年度）
議員定数：48 人

画像出典：ABFl ocal area

静岡市では平成 21 年度に「しずおかあったかプラン」（静岡市ユニバーサルデザイン基本計画、行動計画）を策定し、平成 27 年度に第二次行動計画を策定しています。

静岡市では、ユニバーサルデザインの推進体制として担当部局を置き、ユニバーサルデザイン推進会議を持っています

▲静岡市役所

▲静岡市役所（旧県庁）と内部の様子

▲配布資料

「しずおかあったかプラン」では「温かい心の通い合う、みんながいきいきと暮らせるまち」を基本理念に、心、社会、まち、情報、サービス、もの、しくみのユニバーサルデザインを進めています。

ユニバーサルデザイン推進会議として、関係各課に 1 名ずつユニバーサルデザイン推進リーダーを選任し、意識啓発や施策の進捗状況を確認することで、より質の高いユニバーサルデザインの取組みにつなげています。ここでは行動計画と最終目的達成度をグラフ化して、進捗状況を見える化しています。

▲進捗状況を見える化

また、静岡市 UD アドバイザーとして大学准教授からアドバイスを受けることもできます。これを活用し、駿河湾フェリーの船内サインをリニューアルしました。

ユニバーサルデザイン出前講座では、児童生徒が楽しみながらユニバーサルデザインを学んでいます。

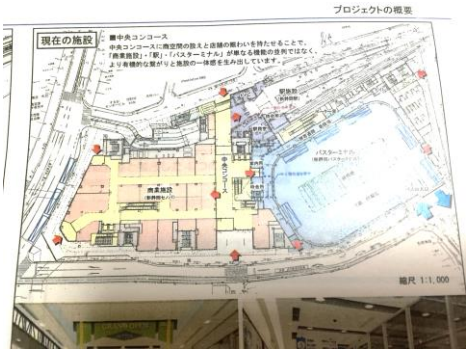
この他、市内ではユニバーサルデザインに配慮された施設が多く存在しているにもかかわらず情報が伝わっていなかったことから、U/B ぷらというサイトを立ち上げ、情報を市役所ホームページ上で一か所にまとめています。

▲U/B ぷら

続いて、市役所を出て、静岡市と民間企業、鉄道会社等が協働で再開発を行った駅前再開発を視察しました。行政と民間企業との一体的な再開発が評価され、平成25年に国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞しています。従前は商業施設とバスターミナルと駅施設が混在し、私有地の中に一部市有地が入りこんでいましたが、行政と民間企業が協力して再開発を行い、商業施設を一か所に集中させ、駅へのアクセスをしやすくし、バスターミナルをまとめ、駅へのアクセスも格段に利用しやすくなりました。

＜Before＞

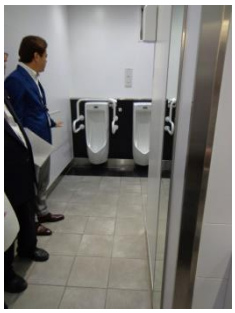
＜After＞



▲CENOVA（セノバ）

▲商業施設と鉄道・バスが一体化

▲新静岡駅



▲トイレの色合い

▲バスターミナル（表示が見やすく、安全性も確保されています）

▲タッチパネル案内

静岡市では、条例は作らずに計画を立て、職員体制も強化することで全庁的な取組みがされていました。民間企業や鉄道会社と協働で行った駅前再開発は、随所にユニバーサルデザインの工夫がされていて、地域経済の活性化、鉄道やバスの公共交通の充実も含め、官民協働でユニバーサルなまちづくりを行っていることが印象的でした。

▲新静岡駅

2016年5月
戸田市議会議員　金野桃子

３　静岡県立総合病院の取組み

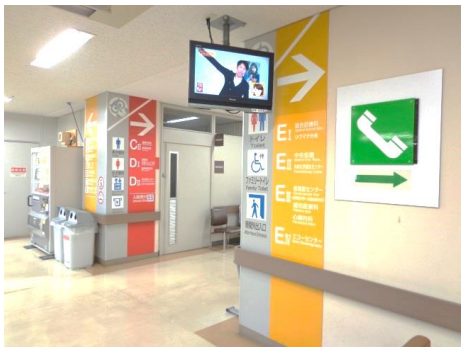
その後、静岡県立総合病院のユニバーサルデザイン導入事例を視察させていただきました。

静岡県立総合病院は敷地面積約5000平方メートル、地上６階建ての大きな病院で、平成13年度から14年度にかけて、案内誘導サインの改修を行っています。

施設の中には、目立つ色と大きさで表示が書いてありました。色分けや矢印のほか、トイレは目立つように案内が前面にあり、視線が低くなりがちや患者さんのために足元にも表示がされていました。

▲静岡県立総合病院

▲角の表示


▲廊下の表示

▲多目的トイレ

▲階段の入り口

▲天井の表示

▲足元の表示

病院とは思えないような鮮やかで大きな表示が施設の全体にあり、驚きました。病院としてはもう少し落ち着きをというご意見もあるそうですが、患者さんには分かりやすいそうです。

浜松市、静岡市での取組みを拝見し、ともに「ユニバーサルデザインを進めよう！」というビジョンを持ち、条例や計画を立て、職員体制を強化し、全庁的に取り組んでいることがわかりました。特に、両市ともハード面の整備だけではなく、「心のユニバーサルデザイン」を進める点が共通している点が印象的でした。市役所庁舎内のユニバーサルデザインの他、民間企業、鉄道・バス、病院でのユニバーサルデザインは、あまりにストレスなく利用できるため気がつかないほどでした。障がいのある方、ご高齢の方、子ども連れの方、外国の方など、だれにでも使いやすいユニバーサルデザインはみんなが住みやすいまちづくりにつながっていると感じました。今回視察を受け入れてくださった皆様、どうもありがとうございました。

▲車窓から見えた富士山